

# うそつかない、親切に

平成

25. 9. 14

## 四つのしつけで高所得

神大などが調査

うそをつかない、人に親切にするなど四つのしつけを子どもの時に受けた人は、所得や学歴が高くなる傾向があるとの調査結果を、神戸大や同志社大、立命館アジア太平洋大（大分県）のチームが約1万6千人を対象とした調査でまとめ、13日発表した。

あとの二つは、「ルールを守る」と「勉強をする」。四つ全てをしつけとして受けた人は、四つとも受けていない人より、1年間の平均所得が約86万円高かった。

チームは、幼児教育が労働現場での評価にどう影響するかを検証するため、しつけと所得や学歴との関係を調査。インターネット上で9万人にアンケートし、約1万6千人から回答を得た。

すると、四つ全てのし

四つ全てをしつけとして受けた人と、全て受けていない人の平均所得



四つを全て受けた  
全て受けていない

つけを受けた人の平均所得は479.6万円。四つとも受けていない人は393.4万円。大学や大学院を卒業した人の割合は全て受けた人で55%、受けていない人は46.5%だった。

飲酒運転や脱税、年若い親の面倒は子が見るべきだ、などの論点についてどう考えるか、4段階で評価してもらった結果、四つ全てを受けた人はより強い倫理観を持っていることも分かった。

しつけは、あいさつをする、親の言うことを聞くなどを含め計八つから選んでもらったが、うち四つが特に重要なことが示された、としている。